

グランシップ子どもアート体験！学校プログラム 御殿場市、富士宮市、浜松市で「講談教室」を開催！ ～子どもたちが張扇を持って日本の伝統話芸を体験～

1 要旨

公益財団法人静岡県文化財団・グランシップでは、県民の皆様に芸術性の高い舞台芸術を鑑賞・体験する機会を多く持っていただき、またグランシップの活動を知っていただくために、国内外の芸術家によるコンサートやワークショップなど、多様な形態で各地の文化施設や学校においてアウトリーチ活動を積極的に実施しています。

今回は、静岡県出身の講談師宝井馬琴たからいぼきんが平成15年度より指導してきた「講談教室」を、宝井琴星たからいきんせいが引き継ぎ、自ら小中学校へ出向いて、日本の伝統話芸を次世代に伝えます。

講師の親しみやすい人柄や聞きやすい語り口で、子どもたちだけでなく、教職員の方にも分かりやすく「講談」の特徴や“日本の伝統話芸”の魅力について楽しく紹介します。

2 ワークショップ概要

区分	内容
日時	① 平成26年10月9日(木) 12:40～14:10 ② 平成26年10月10日(金) 13:45～15:30 ③ 平成26年10月30日(木) 13:25～15:15
会場	① 御殿場市立原里小学校 体育館(御殿場市川島田1902) ② 富士宮市立白糸小学校 体育館(富士宮市原1115) ③ 浜松市立東部中学校 体育館(浜松市南区飯田町1038)
参加者	① 6年生(4クラス136名) ② 1～6年生(116名)※1～3年生は前半のみ参加 ③ 2年生(7クラス230名)
講師	宝井琴星 <small>たからいきんせい</small> …昭和22年横浜市生まれ。昭和48年宝井馬琴門下に入門。昭和60年真打昇進。講談協会理事兼事務局長。 宝井琴柑 <small>たからいきんかん</small> …中学生の頃より宝井馬琴講談修羅場塾にて講談に触れる。平成18年宝井琴星に入門。平成22年二ツ目昇進。グランシップ講談教室にて平成20年より進行役を務める。
進行内容(予定)	★子どもたちが「知る」「体験する」から、本物を「聴く」までのプログラム *講談って何?…各種話芸(落語、浪曲など)の紹介や講談の特徴について、実技(「塚原ト伝と宮本武蔵鍋蓋試合」を交えて解説) *声を出してチャレンジ…静岡県内の地名が出てくる「東海道往来」や「水戸黄門」の名ゼリフを全員で読む。ステージに上がって張扇も使う。 *本物の講談を聞く…一流の講談師による講談を聞く。(宝井琴星) (「村越茂助左七文字の由来」【途中休憩あり】)

◆これまでの「講談教室」について



- 平成15～19年 グランシップにて開催。
平成20～22年 長泉町文化センター、裾野市民文化センター、御前崎市民会館、菊川文化会館、御殿場市民会館、沼津市民文化センターにて開催。
平成23年 菊川市立小笠東小学校、富士宮市立黒田小学校、焼津市立焼津東小学校にて開催。
平成24年 袋井市立袋井南小学校、焼津市立焼津東小学校、伊東市立富戸小学校にて開催。
平成25年 袋井市立袋井南中学校、御殿場市立神山小学校、浜松市立気賀小学校にて開催。

3 取材申込・お問い合わせ

静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ

指定管理者：公益財団法人静岡県文化財団 事業課 電話 054-203-5714 (担当：渡邊・法月)